日本語取扱説明書

この度はLDDE社製DMXテスター『X-PEN』をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本製品が貴方の作業効率の向上とその喜びに貢献できることを私たちは心から望んでいます。
『X-PEN』ご使用前に本説明書をよくご覧になり、機能をご理解いただいた上で作業を行って下さい。
特に作業における安全には十分ご配慮下さい。

1. スタートアップ

まず、本体を付属のレザーケースから出します。レザーケースを片手で押さえ、もう一方の手でX-PEN本体を持ち、X-PENを反時計回りに回します。
電源を入れるためには、本体の「OK」ディスプレイ部分をケース底面に近づけるか軽く接触させて下さい。
こうすることで電源がONになり、本体表面のステータスLEDとプラグ側に内蔵されている照射用LEDが点灯します。この時点でオペレートが可能になります。

X-PENは一定時間を経過すると自動的に電源がOFFになります。照射用LEDは20秒後、ステータスLEDは60秒後にそれぞれOFFになります。
またX-PENを実際にコネクタに接続し、DMX信号を受信している場合は最長10分間オペレート時間が延長されます。

2. データ計測

X-PENをコネクタに接続し、DMX信号を受信すると同時に自動的に計測が開始されます。まず、電気的な結線のチェックが行われ、
追って他のパラメータ（スタートコード、ブレイク、マーク・アフター・ブレイク、アップデート・レート）が計測されます。

3. LEDのステータス

「DAT」「SCR」「P/S」が点灯している場合はケーブルに不具合があります。
「BRK」「MAB」「UPD」「P/S」が点灯している場合はDMX512プロトコルから逸脱した信号が発生しています。

4. 各ステータスLEDの説明

Ⓐ OK

OKのステータスLEDが継続的に点滅している場合は、DMX信号に異常はありません。

・DMXチャンネル1のデータが50%以上の場合、1回だけ点滅します。
・DMXチャンネル2のデータが50%以上の場合、2回点滅します。
・DMXチャンネル3のデータが50%以上の場合、3回点滅します。

Ⓑ DAT（DATA+/DATA−）

データの結線に不具合がある場合にこのステータスが点灯します。

・データPIN2に信号が来ていない場合、2回点滅します。
・データPIN3に信号が来ていない場合、3回点滅します。

Ⓒ SCR（SCREEN ERROR）

PIN1の結線に不具合がある場合に点滅します。

Ⓓ P/S（PHASE, START-CODE）

PIN2とPIN3の位相が逆になっている場合とスタートコードがゼロでない場合に点滅します。

・DMX信号に不具合がある場合（この場合は位相の反転を意味します）、ゆっくりと点滅します。
・スタートコードがゼロでない場合、速く点滅します。

Ⓔ BRK（BREAK ERROR）

ブレイクタイムが88μs以下の場合に点滅します。

Ⓕ MAB（MARK AFTER BREAK ERROR）

マーク・アフター・ブレイクが8μs以下の場合に点滅します。

Ⓖ UPD（UPDATE ERROR）

1秒に10DMXパッケージ以下の信号を受信したときに点滅します。

5. 保管について

●故障の原因となりますので湿気や熱を避けて保管して下さい。また本体に衝撃を加えないで下さい。
●本体をお手入れする場合は、布を軽く湿らせ汚れをふき取って下さい。化学洗剤は使用しないで下さい。
●本体を保管する場合は必ず付属のケースに入れて保管して下さい。

6. その他

●電池を交換する場合は、レザーケースから本体を取り外し、本体上部（プラグ側の反対、LDDEのロゴがある方）のキャップを反時計回りに回してキャップを外します。
電池の極性に注意し新しい電池を入れ、キャップを閉めて下さい。
●照射用LEDの光が弱くなってきたら電池を交換して下さい。光が弱い状態では正確なチェックが出来ません。
また長時間使用しない場合は本体から電池を外して保管して下さい。
●故障の原因となりますのでDMX信号より強い電流の計測には使用しないで下さい。
●100m以上のケーブルを使用するとデータが正しく計測できません。
●上記以外の場合でのご使用による故障、また本製品の使用による損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、
またはその他の金銭的損害）に関して、弊社は一切の責任を負いかねます。

グラフィカ
ディストリビューションセンター
〒700-0976岡山市辰巳421-1-301
tel 086-242-5105 fax 086-242-5106
http://www.soundfarm.co.jp